

あ
と
が
き

3月・4月は別れと出会いの季節です。

桜の満開を待つ気持ちと、桜の花の散る何とも取り返しのつかない不安な、淋しい気持ちの混じりあった頼りない感覚があり、嫌でも今の自分を照らす季節なのかもしれません。

一朝一夕には今の自分は作られず、たくさんの出会いと別れをくり返し、「もっとこうすれば良かった」や「もうきつくて大変だった」など、毎日の鏡の中の自分と会話し今の自分がいます。

気持ちの精神年齢は実年齢よりずっと幼く、大学を卒業し就職する頃にやっと子供卒業、子供が成人し孫の顔を見る頃にやっと青春時代は終わったというところでしょうか。自分の心の中の自分は、成長がなかなかできず若い気持ちのままです。

思春期に、この一番感受性豊かでとんがった時期に色々としっかり迷い、自分と向きあって苦しまないと中々成熟していかないのかなとも思います。大切なのは自分の事を自分で決めていく力をつける事。特に女性は、他人の評価を頭のはしに気にしながらも自分が何ものであるかを追求していく力をつけていく事が大切かと思えます。

性的な事に関してもです。今の日本は、性教育が均等になされ必要な情報が届けられている状況でなく、むしろSNSを介し、若い性が搾取されています。性被害は若年者に特に多い事態となっています。性的にも自己決定ができるよう、しっかりと知識を持って自分で決める力をつけて欲しいと思います。そのためにも、DV、性暴力被害、性教育にこれからも関わっていきたいと考えています。まだまだ「性的自己決定」という言葉がきつく感じられるような今の日本の状況ですがとても大事な事です。

カップル、夫婦で性的な事が話し合え、お互いを尊重し、自立し、大切にする。同性でも異性でも多様性を理解し、自分も相手も大切にする未来であって欲しいと考えます。

(編集委員長 貞永 明美)